



東京大学  
THE UNIVERSITY OF TOKYO

東京大学

# 横断型

University-wide Education Program

教育プログラム

2018

# 横断型教育プログラムへ



東京大学総長 五神 真

グローバル化が加速している中で、社会には旧来のやり方では対処できない課題が山積しています。その解決には、新たな発想、アイデアが必要です。東京大学は、その鍵となる知を生み出すこととそのような人材を育成する役割を担っており、勇気と英知と責任感を持って、これらに挑戦していかなければなりません。

学生みなさんには研鑽を積み、原理に立ち戻って自分の頭できちんと考える力、困難に直面してもあきらめないで考え続ける力、自ら新しいアイデアや発想を出す力を鍛え、同時に自らを相対化できる広い視野を身につけて欲しいと思っています。そのためには、狭い専門知識だけでなく、新たな学問的課題に果敢に挑戦し、幅広い分野を横断していく柔軟な知性が不可欠です。そして、急速なグローバル化と不透明性の高い時代を生き抜いていくことができるのは、複線的な視座を柔軟に統合できる人々です。

東京大学は、新しい課題に向けて異なる分野の知をつなぐ横断型教育プログラムを展開させてきました。このプログラムは、現在では11プログラムまで拡充されており、どれもこれまでにない新しい創造的領域に挑戦しているものです。これらのプログラムにおける学習を通して、今までに経験したことがないような課題に対して柔軟に考え、創造的な工夫をして取り組んでいくことのできる知的な総合力を発揮する能力を身につけて欲しいと考えています。

学生みなさんが東京大学という道場で、挑戦者としてこの学びのフロンティアに積極的に参加してくれることを期待します。

# の招待

## 修了証授与までのステップ

履修資格：東京大学のすべての学部後期課程及び研究科（教育部を含む）に所属している学生が履修できます。学部横断型は、学部3～4年生（大学院学生も各研究科の規則の範囲で履修可能）、大学院横断型は、大学院学生が対象です。

※「海洋学際」及び「科学技術イノベーション政策の科学」については、ウェブサイトにて指示されている方法に従ってプログラムへの参加登録を行ってください。

### Step 1

#### 科目履修登録

各研究科・学部の通常の履修手続きに従ってください。

### Step 2

#### 科目単位認定

単位・成績の評価は、各科目に関する通常のルールに従って授業科目ごとに行われます。

### Step 3

#### 修了証申請

修了証の申請時期は、在学している学部を卒業又は大学院を修了（博士課程満期退学を含む）する学期の始めです。修了証授与を希望する学生は、UTASで期間中に手続きを行ってください。  
プログラムによって必修科目等の単位数が異なります。  
詳細は各プログラムのウェブサイト等で確認してください。

### Step 4

#### 修了証授与

各プログラムの修了に必要な単位を取得し、在学している学部を卒業又は大学院を修了（博士課程満期退学を含む）した履修者には、東京大学から修了証が授与されます。この修了証は、全学の教育運営委員会で認められて大学が授与する正式な修了証です。

※プログラムの修了に必要な単位を取得しても、学部卒業・大学院修了（博士課程満期退学を含む）ができなかった場合には修了証は交付されません。

## 大学院横断型

University-wide Graduate Education Program



Japan-Asian Studies

### 日本・アジア学教育プログラム

日本・アジアに関する教育研究ネットワーク  
e-mail: asnet@asnet.u-tokyo.ac.jp  
tel: 03-5841-5868 fax: 03-5841-0782  
<https://asnet-utokyo.jp/>



UTokyo Ocean Alliance

### 海洋学際教育プログラム

海洋アライアンス [教育プログラム担当]  
e-mail: education@oa.u-tokyo.ac.jp  
tel: 04-7136-6416 fax: 04-7136-6418  
<http://www.oa.u-tokyo.ac.jp/>



Digital Humanities

### デジタル・ヒューマニティーズ教育プログラム

情報学環メディア・コンテンツ総合研究機構  
デジタル・ヒューマニティーズ・コア  
[DH 教育プログラム担当]  
e-mail: dh-info@iii.u-tokyo.ac.jp  
<http://dh.iii.u-tokyo.ac.jp/>



Science, Technology, and Innovation Governance

### 科学技術イノベーション政策の科学教育プログラム

科学技術イノベーション政策の科学教育プログラム事務局  
e-mail: STIG@pp.u-tokyo.ac.jp  
tel: 03-5841-0955  
<http://stig.pp.u-tokyo.ac.jp/>

## 学部横断型

University-wide Undergraduate Education Program



写真提供 / (株)いろどり

Gerontology

### ジェロントロジー教育プログラム

高齢社会総合研究機構 [教育プログラム担当]  
e-mail: edu@iog.u-tokyo.ac.jp  
tel & fax: 03-5841-1662  
<http://www.iog.u-tokyo.ac.jp/>



Media Content

### メディアコンテンツ教育プログラム

情報学環メディア・コンテンツ総合研究機構  
[MC 教育プログラム担当]  
e-mail: gakubu-info@iii.u-tokyo.ac.jp  
<http://content-gakubu.iii.u-tokyo.ac.jp/>



Barrier-Free Education

### バリアフリー教育プログラム

教育学研究科附属バリアフリー教育開発研究センター  
e-mail: cbfe@p.u-tokyo.ac.jp  
tel & fax: 03-5841-1406  
<http://www.p.u-tokyo.ac.jp/cbfe/cdp/>



作者名/Shutterstock.com

Death and Life Studies and Practical Ethics

### 死生学・応用倫理教育プログラム

文学部 死生学・応用倫理センター  
e-mail: center.dalspe@gmail.com  
<http://www.l.u-tokyo.ac.jp/program/index.html>



Global Japan Studies

### 国際総合日本学教育プログラム

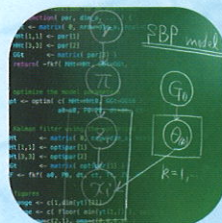
国際総合日本学ネットワーク [教育プログラム担当]  
e-mail: intex-ut.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp  
<http://gjs.ioc.u-tokyo.ac.jp/>



Human Integrative Science and Education of Mind

### こころの総合人間科学教育プログラム

東京大学こころの多様性と適応の統合的研究機構  
こころの総合人間科学教育プログラム担当  
e-mail: utidahn-office@umin.ac.jp  
<http://plaza.umin.ac.jp/UTIDAHM/phisem/>



Mathematics and Data Science

### 数理・データサイエンス教育プログラム

数理・情報教育研究センター  
数理・データサイエンス教育プログラム担当  
mds-oudan@mi.u-tokyo.ac.jp  
<http://mi.u-tokyo.ac.jp/mds-oudan/>

# 平成30年度共通授業科目一覧

## 全学部共通授業科目

実施学部	授業科目名	ターム	単位数	備考
医学部	グローバル生命倫理	A1	2	
	「居場所」の未来（朝日講座）	A1A2	2	
文学部	死生学概論（死生学の射程）	S1S2	2	死生学・応用倫理教育プログラム科目
	死生学特殊講義Ⅰ（死と不安の社会学）	S1S2	2	死生学・応用倫理教育プログラム科目
	死生学特殊講義Ⅱ（臨床死生学・倫理学の諸問題）	S1S2	2	死生学・応用倫理教育プログラム科目
	死生学特殊講義Ⅲ（臨床老年死生学入門）	A1A2	2	死生学・応用倫理教育プログラム科目
	死生学特殊講義Ⅳ（共感とケアの哲学）	S1S2	2	死生学・応用倫理教育プログラム科目
	死生学特殊講義Ⅴ（自律についての関係的なアプローチの展開）	A1A2	2	死生学・応用倫理教育プログラム科目
	死生学特殊講義Ⅵ（死生のケアの現象学）	S1S2	2	死生学・応用倫理教育プログラム科目
	死生学特殊講義Ⅶ（事例から読み解く生きづらさ）	S1S2	2	死生学・応用倫理教育プログラム科目
	死生学演習Ⅰ（病いの語りをめぐる倫理）	A1A2	2	死生学・応用倫理教育プログラム科目
	死生学演習Ⅱ（スピリチュアリティ研究）	S1S2	2	死生学・応用倫理教育プログラム科目
	死生学演習Ⅲ（死生学基礎文獻講読）	A1A2	2	死生学・応用倫理教育プログラム科目
	応用倫理概論（応用倫理入門）	S1S2	2	死生学・応用倫理教育プログラム科目
	応用倫理特殊講義Ⅰ（質的研究法）	S1S2	2	死生学・応用倫理教育プログラム科目
	応用倫理特殊講義Ⅱ（生と場所の環境倫理）	A1A2	2	死生学・応用倫理教育プログラム科目
	応用倫理特殊講義Ⅲ（〈環境－社会〉への語りと倫理）	A1A2	2	死生学・応用倫理教育プログラム科目
	応用倫理特殊講義Ⅳ（現象学的な質的研究）	A2	2	死生学・応用倫理教育プログラム科目
	応用倫理演習Ⅰ（科学的生命観と人生論的生命観Ⅲ）	A1A2	2	死生学・応用倫理教育プログラム科目
	応用倫理演習Ⅱ（環境倫理文獻講読）	S1S2	2	死生学・応用倫理教育プログラム科目
	応用倫理演習Ⅲ（環境思想研究）	S1S2	2	死生学・応用倫理教育プログラム科目
	応用倫理演習Ⅳ（生命倫理と臨床倫理）	A1A2	2	死生学・応用倫理教育プログラム科目

## 大学院共通授業科目

実施部局名	授業科目名	ターム	単位数	備考
総合文化研究科	国際社会科学特別講義Ⅳ	A1A2	2	日本・アジア学教育プログラム科目
	人間環境論Ⅱ	S1S2	2	日本・アジア学教育プログラム科目
	サステナビリティの戦略Ⅱ	A1A2	2	日本・アジア学教育プログラム科目
工学系研究科	社会基盤イノベーションⅤ	S1	1	日本・アジア学教育プログラム科目
	国際プロジェクトのケーススタディⅤ	S2	2	日本・アジア学教育プログラム科目
農学生命科学研究科	緑地創成学特論	集中	2	日本・アジア学教育プログラム科目
	農学国際特論ⅢⅤ／環境政策特別講義Ⅴ	集中	2	日本・アジア学教育プログラム科目
	国際農業と文化ゼミナール	集中	2	日本・アジア学教育プログラム科目
	国際農業と文化実習	集中	4	日本・アジア学教育プログラム科目
	サステナビリティと作物生産学	集中	2	日本・アジア学教育プログラム科目
学際情報学府	大学教育開発論	S1S2	2	
	大学教育開発論	A1A2	2	
	エグゼクティブ・プログラム16「新たな価値創造と社会的責任」	S1S2	2	

授業科目の詳細は「UTAS」及び「東京大学授業カタログ」を参照。

- UTAS <https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/campusportal.do>
- 東京大学授業カタログ（学部後期課程版） <http://catalog.he.u-tokyo.ac.jp/ug-index>
- 東京大学授業カタログ（大学院版） <http://catalog.he.u-tokyo.ac.jp/g-index>

# 日本・アジア学 教育プログラム



日本を含むアジアは、経済成長を続ける一方で、環境問題や経済格差、健康、地域開発、歴史認識といった様々な問題を抱えています。そして、これら問題群はいくつもの地域や専門領域に跨っています。「日本・アジア学」プログラムは、文系・理系を問わず、激動するアジアを広く、そして深く知ることができるカリキュラムになっています。“もっとアジアを知りたい”、“アジアで活躍したい” と考える皆さんの参加を期待しています。



## ● プログラム概要

本プログラムは、総合科目群と言語科目群に大別されます。総合科目群は、本プログラムの中核をなすもので、総論、社会・文化論、社会技術論、自然環境論、健康論、情報論、特論からなります。また言語科目群は、教養学部・文学部で学部後期課程(3-4年生)に実施されるアジア関係言語科目からなります。

## ● 科目群

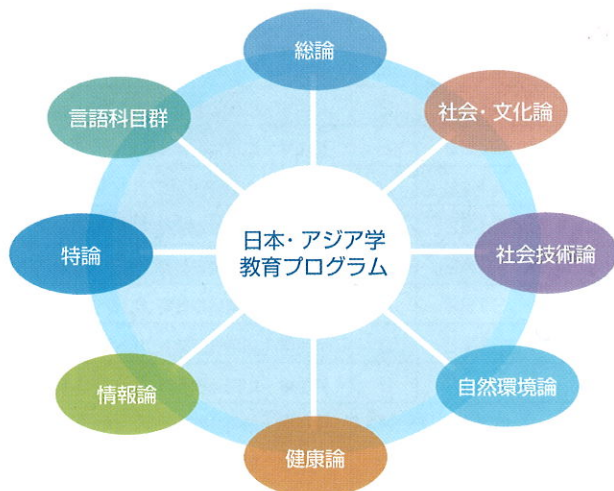
【総合科目群】 アジアの法とマイノリティ / アジアでがんを生き延びる / 中東の経済発展・政治変動と文化社会変容 / 朝鮮半島をめぐる政治経済・国際政治 / 途上国農村経済論 / 書き直される中国近現代史 / ヴァナキュラー文化研究の射程 / 戦後初期日本の民族関係 / アジアの食と農・環境 / 農業からみたアジア史 / 東アジア産業論 / 国際地域保健学特論 / Case Studies of International Projects / Introduction to Asian Studies など

【言語科目群】 中国語 / 韓国朝鮮語 / アラビア語 / ヒンディー語 / インドネシア語 / ペルシア語 / シリア語 / ヘブライ語 / ベトナム語 / トルコ語 / 広東語 / 台湾語 / サンスクリット語 / タイ語 / モンゴル語 / チベット語 / 上海語

## ● 履修・修了要件

【対象】 東京大学の大学院学生

【履修】 12単位(うち言語科目群は4単位まで)を修了した学生に、東京大学が授与する正式な修了証を交付します。具体的な履修条件はホームページをご覧ください。修了を目的とせず、個別の科目のみを履修することも歓迎しています。



# 海洋学際 教育プログラム



海に関わる教育研究の部局横断的なネットワーク組織として、分野横断型大学院教育プログラムを実施します。理系・文系といった従来の枠組みを越えた学際領域としての海洋学の総合的な発展と、日本の海洋政策の統合化および国際化を担う人材の育成を目指します。



## ● プログラム概要

本プログラムの講義科目は、関連する研究科・専攻の科目によって構成されます。具体的には、海洋問題演習を必修科目として実施5研究科で各々開講し、また分野横断的な学習を促すため、選択必修1(共通科目)、選択必修2(文系科目)、選択必修3(理系科目)を各研究科において開講します。また、講義への理解をより深めるため、これらの科目とは別に、各研究科の開講科目の中から1~2科目の履修を推奨しています。

## ● 科目群

【必修科目】 海洋問題演習

【選択必修科目1】 海洋法・海洋政策インターンシップ実習 / 海事政策論

【選択必修科目2】 国際海洋法制度概論 / 沿岸域管理法制度論 / 海洋科学技術政策論

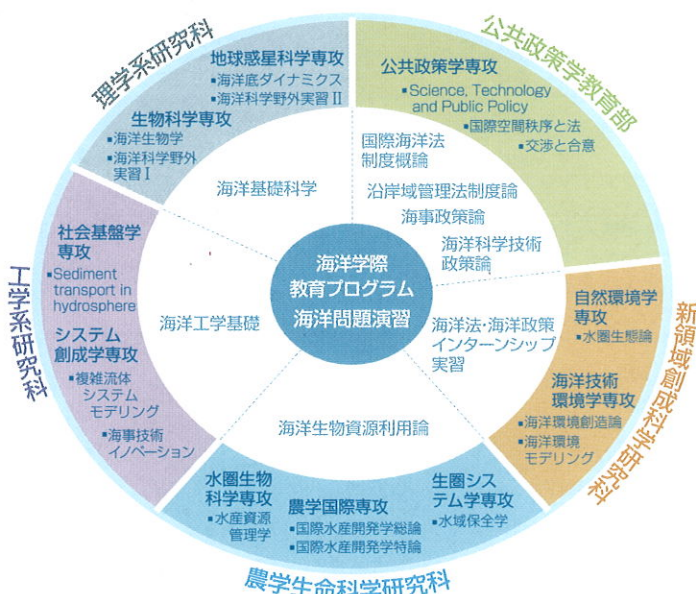
【選択必修科目3】 海洋基礎科学 / 海洋工学基礎 / 海洋生物資源利用論

【推奨科目】 海洋底ダイナミクス / 海洋科学野外実習 II / 海洋生物学 / 海洋科学野外実習 I / Sediment transport in hydrosphere / 複雑流体システムモデリング / 海事技術イノベーション / 水産資源管理 / 国際水産開発学総論 / 国際水産開発学特論 / 水域保全学 / 水圏生態論 / 海洋環境創造論 / 海洋環境モデリング / Science, Technology and Public Policy / 国際空間秩序と法 / 交渉と合意

## ● 履修・修了要件

【対象】 東京大学の大学院学生

【履修】 必修科目を含む14単位以上を取得した学生にプログラム修了証を交付します。具体的な履修条件はホームページをご覧ください。修了を目的とせず、個別の科目のみを履修することも可能です。



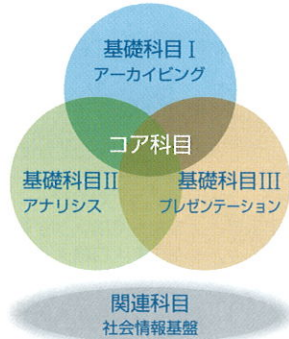
# デジタル・ヒューマニティーズ 教育プログラム



DIGITAL  
HUMANITIES



デジタル技術は、人類の知的資源の保存、研究、発信の方法を大きく変えて、情報社会の新しい知識基盤を形成しています。この変化に対応すべく、デジタル媒体による学術資料のアーカイブ構築、文化コンテンツや言語テキストの分析、学術成果の公開や展示の方法などを、文系・理系の枠組みを横断して研究する「デジタル・ヒューマニティーズ」の動きが世界的に広がっています。本プログラムは、デジタル技術を用いたヒューマニティーズの新しい方法とともに、情報学を文化資源の構築に活かしていく方法を広く学びます。



## 履修・修了要件

【対象】 東京大学の大学院学生

【履修】 必修科目4単位を含む12単位以上を取得した学生に、プログラム修了証を交付します。具体的な履修条件はホームページをご覧ください。修了を目的とせずに、個別の科目のみを履修することも歓迎しています。

## プログラム概要

本プログラムは、〈コア科目〉、〈基礎科目〉、〈関連科目〉によって構成されます。〈コア科目〉はデジタル・ヒューマニティーズの中核をなすもので、2つの「必修科目」が含まれます。〈基礎科目〉は、I) アーカイビング、II) アナリシス、III) プレゼンテーションという3つの要素からなり、学問領域を横断して理論と方法を学ぶことができます。〈関連科目〉では、これらの科目に関係する情報社会基盤の知識を得ることができます。

## 科目群

【コア科目】 人文情報学概論 (I) (必修科目) / デジタル・ヒューマニティーズ入門 (必修科目) / 人文情報学概論 (II) / 人文情報学の諸相 / 知の構造化論 / 社会情報学研究法 I / 多文化共生・統合人間学演習 IV / 人文情報学研究 I / Information, Technology, and Society in Asia 417 / 人文情報学研究 II / Information, Technology, and Society in Asia 418

【基礎科目I】 図書館と情報資料 / 情報媒体構造論 / 文化・人間情報学特論 VII / 図書館情報学研究方法論 / 文化資源デジタルアーカイブ特論 / デジタルアーカイブ原論

【基礎科目II】 文化・人間情報学基礎 II / 日本文化論研究 / 音響音声学(1)、音響音声学(2) / 情報記号論 / メディア文化研究 I / Information, Technology, and Society in Asia 231 / 情報記号分析I

【基礎科目III】 文化継承情報論

【関連科目】 情報メディア論(I) : インターネット基礎 / 情報メディア論(II) : ネットワーク応用

# 科学技術イノベーション政策の科学

## 教育プログラム



科学技術イノベーション政策の作成や実施に必要なエビデンス構築手法や、各分野における科学技術イノベーション政策プロセスに関する知識を身につけた、科学技術イノベーション政策の担い手となる人材育成を目的としています。

## 科学技術イノベーションガバナンスの担い手を育成



公共政策大学院 / 工学系研究科 / 法学政治学系研究科 / 経済学系研究科 / 医学系研究科 / 情報学環・学際情報学府 / 総合文化研究科 etc.

## 履修・修了要件

【対象】 東京大学の大学院生(修士課程・博士課程)

【履修】 共同科目(必修科目)を含む12単位以上を取得した学生に、プログラム修了証を交付します。具体的な履修要件はホームページをご覧ください。修了を目的とせずに、個別の科目のみを履修することも歓迎しています。

※科目名称は、開設研究科によって異なる場合があります。

## プログラム概要

本プログラムは、共同科目、基礎科目、展開科目、分野別研究科目によって構成され、関連する研究科・専攻の科目として開講します。共同科目では、演習形式で様々な知識の総合的活用の方法を身につける「科学技術イノベーション政策研究」を開講。基礎科目では、政策プロセス・制度論、エビデンス構築手法論と2種類開講。展開科目では、基礎科目に関して展開・応用を図る科目を開講します。また、分野ごとの文脈に関する知識を提供し、個別分野における実践的能力を高めるための分野別研究科目の履修を推奨しています。

## 科目群

【共同科目】 事例研究・科学技術イノベーション政策研究

【基礎科目(a) 政策プロセス・制度論】 政策過程論 / 交渉と合意 / 科学技術・産業政策論 / Science, Technology and Public Policy / Policy Process and Negotiation

【基礎科目(b) エビデンス構築手法論】 政策評価の経済学 / イノベーションの経済学 / Quantitative Methods for Management and Policy Analysis / Risk and regulatory policy / Economic Analysis of Innovation / 政策分析

【展開科目】 事例研究・政策プロセスにおける評価とマネジメント / 事例研究・テクノロジーアセスメント / 規制政策 / 知的財産経営 / 科学技術コミュニケーション論 / 科学技術計画論 II / Global Business Strategy and Policy / 事例研究(政策環境検討手法としてのシナリオプランニング:理論と実践) / Case Study (Business environment, stakeholders and issues; a learning experience in collaboration with Japanese industry) / International Intellectual Property Management / Advanced Study of Science & Technology / The Management and Governance of Innovation; Insights from the US / 事例研究(科学技術と政治・行政 II)

【分野別研究科目】 先端エネルギー技術経営と政策 / 宇宙開発と公共政策 / 地域交通政策研究 / 事例研究・デジタル時代の行政と社会 I・II・III / 国際保健政策学特論 / 国際交通政策 / 航空技術・政策・産業特論 / エネルギーシステム概論 (Overview of Energy Systems) / レジリエンス工学特論 (Advanced Lecture on Resilience Engineering) / Case Study (Institutions and Methods of Health Technology Assessment in Healthcare Policy) / 医療イノベーション政策 / Case Study (Project Based Learning on the Medical, Environmental and IT Innovation and the Role of Public Policy) / 事例研究・人工知能と社会

## ジェロントロジー 教育プログラム



「ジェロントロジー」とは、高齢者や高齢社会の諸課題を解決するために生まれた学際的学問です。医学、看護学、理学、工学、法学、経済学、社会学、心理学、倫理学、教育学などの幅広い領域を包含します。2030年には3人に1人が65歳以上という未曾有の超高齢社会を迎える日本では、専門分化した学問だけでは対応が難しい複雑な問題が生じてきています。ジェロントロジーを学ぶことは、将来どの専門領域に進む上でも非常に有用です。あらゆる分野を目指す学生の参加を歓迎します。



### ● プログラム概要

本プログラムには必修科目と選択科目が用意されており、履修者は、2つの必修科目に加えて、約50の選択科目から8単位以上を選択し、履修します。

### ● 科目群

【必修科目】 高齢者の体と心: 老いにつきあう / 高齢社会のリ・デザイン

【選択科目】 社会保障法 / 在宅介護論 / 老年看護学 / 都市住宅論 / 少子高齢社会のみかた / 死生学演習 / 地域論 / 農村計画学 / 労働経済 / 人口論 / 生涯学習政策論 / バリアフリー総論、など51科目

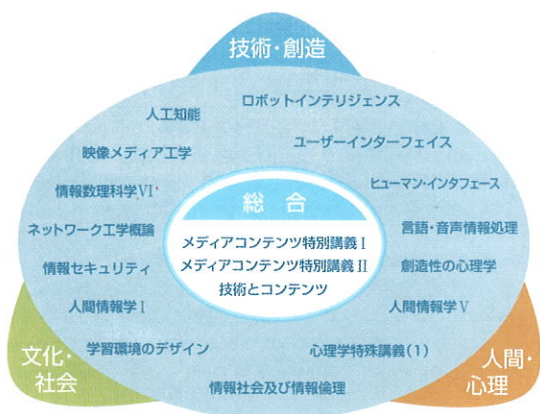
### ● 履修・修了要件

【対象】 学部後期課程の学生(3~4年生)が対象ですが、大学院学生も履修できます。  
【履修】 必修科目(4単位)を含む12単位以上を取得した学生にプログラム修了証を交付します。具体的な履修条件はホームページをご覧ください。修了を目的とせずに、個別の科目のみを履修することも歓迎しています。

## メディアコンテンツ 教育プログラム



人とメディアの関わりは大きく変化しています。本教育プログラムは、最新のインターネットビジネスなどの新しい動きを踏まえ、メディア上に流通するコンテンツの創造に関する学部の枠を超えた横断的な教育と学際的な人材養成を目的とします。



### ● プログラム概要

総合、技術・創造、文化・社会、人間・心理の分野から、メディアコンテンツに関連する科目を、2018年度は18科目を開講します。特に必修科目や選択科目の区別はありません。詳細はホームページをご覧ください。

### ● 科目群

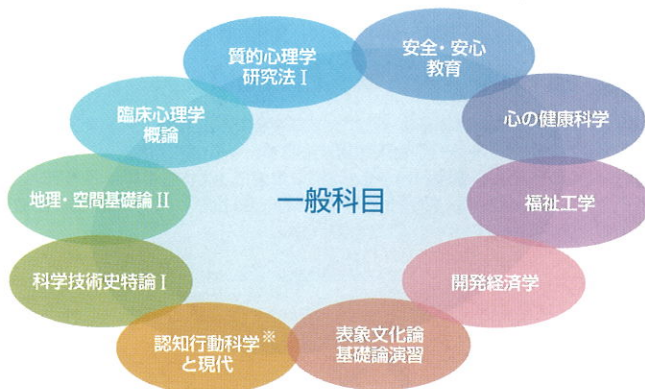
メディアコンテンツ特別講義I / メディアコンテンツ特別講義II / 技術とコンテンツ / 言語・音声情報処理 / ネットワーク工学概論 / 映像メディア工学 / 人工知能 / 情報セキュリティ / ヒューマン・インタフェース / ロボットインテリジェンス / 学習環境のデザイン / 創造性の心理学 / 情報数理論科学VI / 人間情報学I / 人間情報学V / ユーザーインターフェイス / 情報社会及び情報倫理 / 心理学特殊講義(1)

### ● 履修・修了要件

【対象】 学部後期課程の学生(3~4年生)が対象ですが、大学院学生も履修できます。  
【履修】 合計で12単位以上を取得する必要があります。単位認定科目の詳細はホームページを参照してください。本年度末に卒業または修了する、学部・大学院の最終年度の学生にはプログラム修了証が交付されます。修了証の取得を目的とせずに個々の科目のみの履修も可能です。

## バリアフリー 教育プログラム

人々の社会生活において、日常的な文化的社会的な営みそのものが「バリア」を内包しています。本プログラムは、「バリア」を生む文化社会への知的探求を目的とし、学部を超えたカリキュラムを提供します。誰もが生活しやすいバリアフリー社会を構想し実現するための知見を創出し、蓄積し、発信していこうとする皆さんの積極的な参加を期待します。



### プログラム概要

選択必修科目であるコア科目(A群及びB群からそれぞれ1科目以上を履修)と一般科目によって構成されています。コア科目では教育学、社会学、経済学、支援技術論等の観点からバリアフリー研究の理論と方法に関わる基礎的な知識を習得し、一般科目では各学部の既存の科目によってその応用・展開を目指します。

### 科目群

【コア科目】A群: ディスアビリティ・スタディーズ / 社会環境バリアフリー論\*  
B群: バリア・スタディーズ / バリアフリー総論 / 障害と経済\*

【一般科目】心の健康科学 / 福祉工学 / 開発経済学 / 表象文化論基礎論演習 / 認知行動科学と現代\* / 科学技術史特論Ⅰ / 地理・空間基礎論Ⅱ / 臨床心理学概論 / 質的心理学研究法Ⅰ / 安全・安心教育

### 履修・修了要件

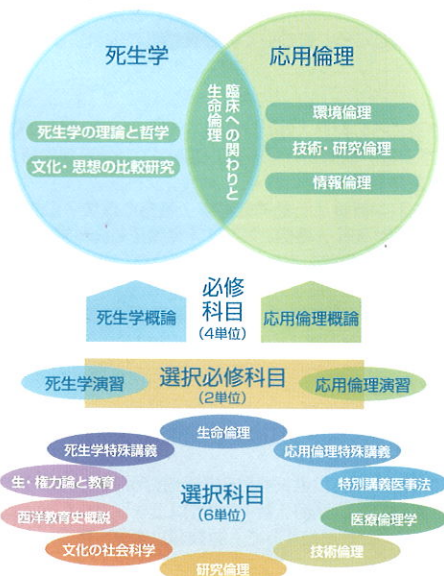
【対象】学部後期課程の学生(3~4年生)が対象ですが、大学院学生も履修できます。  
【履修】選択必修科目を含む12単位以上を取得した学生に、「プログラム修了証」を交付します。修了証の取得を目的とせず、個別の科目を履修することも歓迎いたします。プログラムに関する最新情報は、webサイトをご覧ください。

## 死生学・応用倫理 教育プログラム

死生学は、死すべき存在である人間のあり方を見すえ、そこから生きることを意味を再考する学問です。また、応用倫理は、現代社会のさまざまな場面で起きている諸問題に対し、どのように対応をすべきかを考える営みです。死生学・応用倫理教育プログラムは、これらの分野に関する学際的な知識を有する学生の育成を行います。関心を有する学生諸君の積極的な参加を歓迎します。



作者名/Shutterstock.com



### プログラム概要

本プログラムは必修科目(概論)、選択必修科目(演習)、選択科目(特殊講義など)から構成されます。履修者は死生学と応用倫理を概説する二つの概論を受講するほか、各自の関心によって多様な分野で開講されている演習や特講を選択できます。

### 科目群

【必修科目】死生学概論 / 応用倫理概論

【必修選択科目】死生学演習 / 応用倫理演習

【選択科目】死生学特殊講義 / 応用倫理特殊講義 / 特別講義医事法 / 医療倫理学 / 生・権力論と教育 / 西洋教育史概説 / 研究倫理 / 技術倫理 / 生命倫理 / 文化の社会科学 / 応用倫理学概論 など

### 履修・修了要件

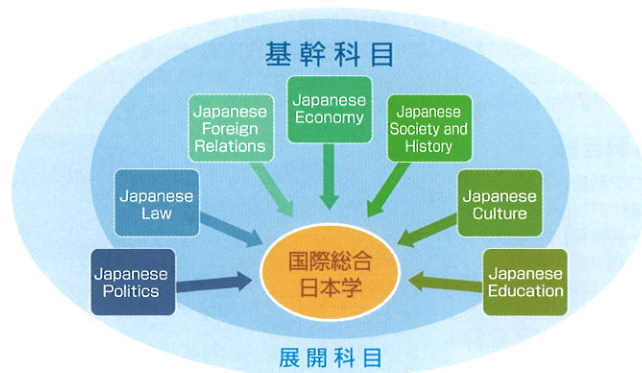
【対象】学部後期課程の学生(3~4年生)が対象ですが、大学院学生も履修できます。但し、大学院学生がプログラム修了証の発行を希望する場合は、学部学生向けの科目を登録してください。

【履修】必修科目4単位、選択必修科目2単位、選択科目6単位、計12単位以上を履修した学生にプログラム修了証を交付します。具体的な履修条件などはホームページをご覧ください。修了を目的とせず、個別の科目を履修することも歓迎いたします。

## 国際総合日本学 教育プログラム



日本の政治・経済・文化・社会を理解するために必要となる知識を、様々な学部・分野の優れた教員が提供するプログラムです。基礎から専門にいたる日本学を、英語により提供します。外国人留学生はもちろんのこと、日本人学生の参加も歓迎します。



### ● プログラム概要

基幹科目と展開科目から構成されます。基幹科目は、基礎的・根幹的な知識を提供するもので、7つのカテゴリーがあります。展開科目は、日本に関する様々な知識を提供するものです。

### ● 科目群

【基幹科目】 Japanese Politics / Japanese Law / Japanese Foreign Relations / Japanese Economy / Japanese Society and History / Japanese Culture / Japanese Education の7つのカテゴリー

【展開科目】 日本の政治、法律、外交、経済、文化、教育などに関する授業多数

### ● 履修・修了要件

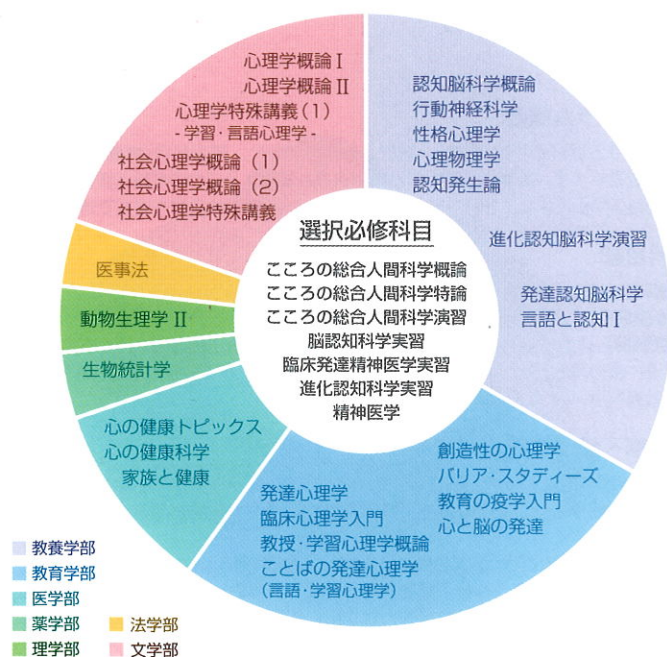
【対象】 本学の学部後期課程学生（及び大学院学生）と、全学交換留学生・部局間交換留学生として本学を訪れた特別聴講学生です。

【履修】 基幹科目および展開科目から合計12単位以上（うち基幹科目の2つ以上のカテゴリーから4単位以上）を取得した学生に対して、プログラム修了証を交付します。詳細はホームページをご覧ください。

## こころの総合人間科学 教育プログラム



「こころ」については、ヒトや動物の認知情報処理過程から、うつ、いじめなどの問題、自我、価値観などヒトの成熟過程まで、様々な側面から幅広い分野で研究が行われています。各研究分野はそれだけで完結せず、他分野との融合によって発展していきます。本プログラムでは、学内のこころの科学にかかわる教員が結集し、部局を超えた最先端のこころの総合的人間科学教育を提供します。こころの多様性と適応に関心のあるすべての皆さんの受講を歓迎します。



### ● プログラム概要

本プログラムは、選択必修科目と選択科目からなります。選択必修科目は、「こころ」について分野横断的に学ぶためのコア講義・実習7科目、選択科目は、様々な専門分野における「こころ」についての講義・実習28科目からなります。

### ● 科目群

【選択必修科目】 こころの総合人間科学概論 / こころの総合人間科学特論 / こころの総合人間科学演習 / 脳認知科学実習 / 臨床発達精神医学実習 / 進化認知科学実習 / 精神医学 (隔年開講)

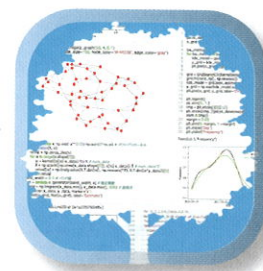
【選択科目】 認知脳科学概論 / 行動神経科学 / 性格心理学 / 心理物理学 / 認知発生論 / 進化認知脳科学演習 / 言語と認知 I / 発達認知脳科学 / 教授・学習心理学概論 / 臨床心理学入門 / 発達心理学 / こころの発達心理学 / 創造性の心理学 / バリア・スタディーズ / 教育の疫学入門 / 心と脳の発達 / 心理学概論 I・II / 心理学特殊講義 (1) / 社会心理学概論 I・II / 社会心理学特殊講義 / 医事法 / 動物生理学 II / 生物統計学 / 心の健康科学 / 心の健康トピックス / 家族と健康

### ● 履修・修了要件

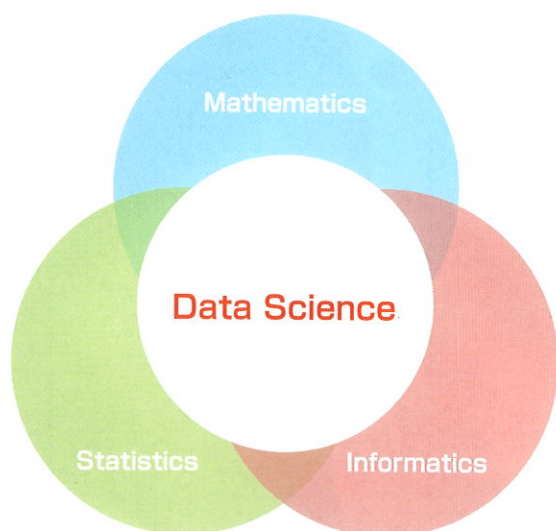
【対象】 学部後期課程の学生（内定生を含む）が対象ですが、大学院学生も受講できます。

【履修】 選択必修科目6単位、選択科目6単位（選択必修科目のうち必要単位数を超えて取得した単位は算入可能）、計12単位以上を取得した学生に修了証を交付します。個別の科目のみを履修することも歓迎します。詳細はホームページをご覧ください。

# 数理・データサイエンス 教育プログラム



数理・データサイエンスの能力の重要性は、文系分野を含む様々な分野で急速な広がりを見せています。本プログラムでは、理系・文系にまたがる体系化された数理・データサイエンスに関する講義科目を提供します。プログラムを履修した学生は、理系・文系を問わず将来の研究あるいは実務の面において必要になる数理・データサイエンス分野に関する基礎的知識と技術を身につけることができます。



## ● プログラム概要

数理・データサイエンス分野の12科目から構成されます。これらの科目を履修することにより、さまざまな応用分野で必要となる数理・データサイエンスの基礎的な力を身につけることができます。必修科目や選択科目の区別はありません。

## ● 科目群

数理手法 IV (確率論) / 数理手法 VI (確率過程論) / 数理手法 V (工学のための現代数学入門) / 数理手法 III (最適化手法) / 数理手法 VII (時系列解析) / 数理科学統論 I (統計データ解析 I) / 数理科学統論 J (統計データ解析 II) / 確率統計学基礎 / Python プログラミング入門 / データマイニング入門 / コンピュータシステム概論 / 社会科学のための統計分析

## ● 履修・修了要件

【対象】 学部後期課程の学生(3~4年生)が対象ですが、大学院学生も履修できます。  
【履修】 合計で12単位以上を取得した学生に修了証を交付します。個別の科目のみを履修することも歓迎します。プログラムに関する最新情報はホームページをご覧ください。